

パートナーテーブル

「パートナーテーブル」とは、協働事業化に向け、提案をした市民とそれを受けた行政の担当課が同じテーブルにつき、対等な立場で率直に意見交換する「場」のことです。

話し合うことは・・・

- ・ 事業が協働事業として相応しいかどうか。
- ・ 協働の形態はどれが適するか、または協働できる部分はどこか。
- ・ お互いができることとできないことを話し合い、役割分担をする。
- ・ お互いの持っている情報を交換し、情報を共有する。

出席者は・・・

提案団体
市担当課職員
協働コーディネーター及びアドバイザー（必要に応じて）
事務局職員（市民自治推進課）

進め方は・・・

出席者自己紹介
市担当課の事業内容の説明
提案団体の企画案の説明
協働事業化への協議
（現状把握、課題の共有、解決手段の検討、役割分担、予算化など）
協働コーディネーターのコメント、助言（必要に応じて）
パートナーテーブルの終了目標の確認
今後の方向及び予定の協議

留意点

結果よりも話し合いのプロセスを重視し、お互いのやり方を押し付けあうのではなく、違いを認識し、共感と信頼関係を大事にしましょう。
事業化が困難な場合は、その一部について協働できないかも検討しましょう。
事業化が決定したら、評価基準・評価方法を明確にしておきましょう。

